

事務事業名		若宮球場維持管理事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	4 豊かな心を育む教育・文化づくり					担当組織	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課
	政策	3 スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり					担当係	管理係	担当課長名	関口 吉丸	
	施策	1 生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 スポーツ施設の整備と運営					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	15335	一般	10	5	2	若宮球場維持管理事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S51年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市体育施設条例及び同条例施行規則		実施方法		直営	
	事業区分		事業分類		施設維持管理事業(市主体)		リーディングプロジェクト		該当		
	市長マニフェスト		該当なし								

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
<ul style="list-style-type: none"> ・球場及びトイレの維持管理。 ・施設の修繕。 ・光熱水費、委託料等の支払い。 			<ul style="list-style-type: none"> ・事業概要と同じ。 							
活動指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
利用者数			人	16,937	15,476	15,707	15,707	15,707		
修繕件数			件	4	4	4	4	4		
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
<ul style="list-style-type: none"> ・市民。 ・若宮球場。 			対象指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
人口			人口		人	123,182	122,582	121,522		
施設数(面数)			施設数(面数)		面	2	2	2	2	2
目的										
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)			成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が安全で快適に利用できる施設・設備環境の整備が図られる。 			利用者数		人	16,937	15,476	15,707	15,707	15,707
④結果(どのような結果に結びつきますか?)										
良好な状態を維持する			上位成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
スポーツ施設整備計画の達成度			スポーツ施設整備計画の達成度		%	-	-	30.0	35.0	40.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	1,225	1,398	1,743	1,743	1,743			
	事業費計(A)	千円	1,225	1,398	1,743	1,743	1,743			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			報償費	60	報償費	60	報償費	60	報償費	60
			消耗品費	142	消耗品費	146	消耗品費	314	消耗品費	314
			光熱水費	434	光熱水費	437	光熱水費	418	光熱水費	418
			修繕料	270	修繕料	432	修繕料	563	修繕料	563
			通信運搬費	32	通信運搬費	34	通信運搬費	34	通信運搬費	34
火災保険料			1	火災保険料	1	火災保険料	1	火災保険料	1	
管理委託料			290	管理委託料	291	管理委託料	353	管理委託料	353	
備品購入費	30									
人件費	人	2	2	2	2	2				
のべ業務時間	時間	100	100	100	100	100				
人件費計(B)	千円	389	394	394	394	394				
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,614	1,792	2,137	2,137	2,137				

事務事業名	若宮球場維持管理事業	担当部	観光スポーツ部	担当課	スポーツ立市推進課	担当係	管理係
-------	------------	-----	---------	-----	-----------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	・学校予定地としての土地を球場として昭和51年に開設した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	・利用者のマイカー使用が多くなり、駐車場の問題が発生している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	・施設が住宅地の中にあるため駐車場の問題や、ボールの球場外への飛び出し等、近隣住民からの苦情等がある。 ・ソフトボール協会から防球ネットの嵩上げの要望がでている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
やり方改善(成果向上の見直し)	・計画的な修繕を検討し、より良い施設の維持管理の努める。
やり方改善(コストの見直し)	・学校開放事業とあわせて、使用料の見直しを検討していく余地はある。
受益者負担の適正化	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	・修繕等により施設の維持が図られ、生涯にわたりスポーツを続けることができる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	・体育施設を設置することにより、より多くの市民、団体がスポーツ・レクリエーション活動を行いやすくなる。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	・体育施設が円滑に利用されることで市民の生涯スポーツ・レクリエーションの振興と健康維持・体力向上が望めるため、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	・現時点では予算にかぎりがあるため、その範囲内でできるかぎりの維持管理に努めているが、施設の老朽化も進んでいくため、計画的な修繕、整備が必要である。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	事業費の削減余地がある	理由・改善案	・修繕等の計画的な実施を進めることにより、施設整備の改善と、計画的な予算執行を行うことができる。 ・必要最小限で行っているため人件費の削減は難しい。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担を見直す必要がある	理由・改善案	・現時点では、当該施設が学校予定地であり、学校開放事業とあわせて、無料としている。学校開放事業や施設の状況等から今後見直す余地はある。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	・市民がスポーツ・レクリエーション活動を行うことができる施設を失うことになるため、廃止、休止はできない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																				
事業のやり方改善(成果向上の見直し) 事業のやり方改善(コストの見直し) 受益者負担の適正化 * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) ・計画的な修繕を検討し、より良い施設の維持管理に努める。 ・学校開放事業とあわせて、使用料の見直しを検討していく余地はある。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上				維持	○		×	低下		×	×	
	コスト																					
	削減	維持	増加																			
向上																						
維持	○		×																			
低下		×	×																			